



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社
 コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 垣内 一
 (氏名) 増田 健吉
 配当支払開始予定日

TEL 078-685-5630
 平成25年12月3日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	31,288	13.2	3,098	10.3	3,494	37.3	2,389	53.1
25年3月期第2四半期	27,637	2.1	2,809	△9.1	2,544	△10.4	1,560	△15.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,463百万円 (321.9%) 25年3月期第2四半期 820百万円 (△40.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	36.98	—
25年3月期第2四半期	23.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	76,493		48,491		63.4		750.47	
25年3月期	72,790		44,146		60.6		683.18	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 48,491百万円 25年3月期 44,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	9.7	5,900	13.0	6,000	0.1	4,200	12.4	65.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) エム オー アイ テック プライベート
リミテッド

(注) 詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	71,208,397 株	25年3月期	71,208,397 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,592,726 株	25年3月期	6,589,433 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	64,617,028 株	25年3月期2Q	66,236,487 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、アベノミクス効果によって円安と株高が進行し、消費の持ち直しと設備投資の改善、公共投資の拡大などによって、景気は緩やかに回復しました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、アジア圏を中心とした海外の売上が堅調に推移し、かつ、為替の円安が進行したことなどにより、業績予想を上回る売上高・利益を計上いたしました。当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高312億88百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益30億98百万円（前年同期比10.3%増）、経常利益34億94百万円（前年同期比37.3%増）、四半期純利益23億89百万円（前年同期比53.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[国内ベルト事業]

自動車用ベルトの新車組み込みライン用は、エコカー補助金終了後の落ち込みから回復傾向にあり、前年同期並みに推移しましたが、補修用ベルトの需要が減少し、全体では売上高が減少しました。

また、為替の円安進行によりユーザの海外生産移管の流れが鈍化しつつあることから、OA機器用ベルトの売上高は前年同期を若干下回る結果にとどまり、一般産業用ベルトは増加しました。

一方、運搬ベルトは積極的な新製品の投入が売上拡大に寄与するとともに、合成樹脂素材も自動車関連部品が伸長し、いずれも売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は131億6百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は31億27百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

[海外ベルト事業]

欧州では、自動車用ベルトは現地通貨ベースでは前年同期を下回る結果となりましたが、一般産業用ベルトは農業機械用を中心に売上高が拡大し、全体では前年同期並みとなりました。

また、米国では、自動車用ベルトと一般産業用ベルトの売上高はいずれも堅調に推移しました。

一方、アジアでは、積極的な拡販活動により、中国やインドネシアを中心に一般産業用・自動車用・OA機器用ベルトの売上高がいずれも大幅に増加しました。

当事業全体の売上高は現地通貨ベースで10%を超える伸びとなった上に、為替レートが前年同期と比較し円安になったことにより、邦貨ベースでは大幅な増加となりました。

その結果、当事業の売上高は141億82百万円（前年同期比37.7%増）、営業利益は10億22百万円（前年同期比136.4%増）となりました。

[建設資材事業]

建築部門は、公共投資や民間の改修工事が期間の後半にかけて回復の動きが見えましたが、前半の落ち込みをカバーするまでには至らず、売上高が減少しました。

また、土木部門では、前年同期に比べ大型物件が少なかったことから、売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は21億3百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益は28百万円（前年同期比63.6%減）となりました。

[その他]

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は18億95百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益は1億63百万円（前年同期比248.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末は、たな卸資産の増加等により流動資産が10億60百万円、有形固定資産が8億95百万円、株価の上昇に伴い投資その他の資産が17億45百万円とそれぞれ増加した結果、総資産は前連結会計年度末比37億3百万円増加の764億93百万円となりました。

一方、負債は、固定負債が4億62百万円減少したことにより、前連結会計年度末比6億43百万円減少の280億1百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が19億11百万円、株価の上昇及び為替が円安に推移した影響によりその他の包括利益累計額が24億36百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比43億45百万円増加の484億91百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の60.6%から63.4%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降は、米国経済の動向などの不安定要因があるものの、海外及び国内の経済は緩やかに回復すると観測が広がっています。当社製品の需要はアジア圏を中心に堅調に持続し、また、為替水準も円安基調で推移すると見られることから、平成26年3月期の通期連結業績予想の見直しを行い、平成25年8月7日発表の予想を修正いたしました。

詳細については、本日（平成25年11月11日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、エム オー アイ テック プライベート リミテッドについては、ミツボシ オーバーシーズ ヘッドクォーターズ プライベート リミテッドと合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうちミツボシ ベルティング インディア プライベート リミテッドを除く23社については、決算日が12月31日であったため同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外した1社を除く22社のうち20社は決算日を3月31日に変更し、中国にある子会社2社については3月31日に仮決算を行うこととしました。

この変更により、当第2四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの6カ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3カ月間の損益については、利益剰余金に直接計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,875	14,706
受取手形及び売掛金	12,808	13,531
商品及び製品	9,543	9,892
仕掛品	1,389	1,452
原材料及び貯蔵品	2,488	2,414
その他	1,110	1,262
貸倒引当金	△80	△66
流動資産合計	42,135	43,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,960	6,956
機械装置及び運搬具（純額）	7,057	7,213
工具、器具及び備品（純額）	1,439	1,398
土地	4,184	4,243
建設仮勘定	1,166	1,891
有形固定資産合計	20,808	21,703
無形固定資産		
投資その他の資産	76	79
投資有価証券	9,473	11,213
その他	321	324
貸倒引当金	△24	△22
投資その他の資産合計	9,770	11,515
固定資産合計	30,655	33,298
資産合計	72,790	76,493

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,723	7,206
短期借入金	7,392	7,171
未払法人税等	864	761
賞与引当金	418	688
その他	3,105	3,495
流動負債合計	19,505	19,324
固定負債		
長期借入金	4,917	3,771
退職給付引当金	404	531
役員退職慰労引当金	25	18
その他	3,792	4,356
固定負債合計	9,139	8,677
負債合計	28,644	28,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	5,480	5,480
利益剰余金	31,917	33,828
自己株式	△3,410	△3,412
株主資本合計	42,138	44,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,650	5,752
為替換算調整勘定	△2,642	△1,308
その他の包括利益累計額合計	2,008	4,444
純資産合計	44,146	48,491
負債純資産合計	72,790	76,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	27,637	31,288
売上原価	19,215	21,960
売上総利益	8,422	9,328
販売費及び一般管理費	5,613	6,229
営業利益	2,809	3,098
営業外収益		
受取利息	26	25
受取配当金	96	118
為替差益	—	193
その他	161	276
営業外収益合計	284	614
営業外費用		
支払利息	86	70
為替差損	328	—
その他	135	148
営業外費用合計	549	218
経常利益	2,544	3,494
税金等調整前四半期純利益	2,544	3,494
法人税等	983	1,104
少数株主損益調整前四半期純利益	1,560	2,389
四半期純利益	1,560	2,389

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,560	2,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△857	1,081
為替換算調整勘定	118	△8
その他の包括利益合計	△739	1,073
四半期包括利益	820	3,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	820	3,463
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,841	10,296	2,372	25,510	2,127	27,637	—	27,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,755	1,412	1	5,169	730	5,900	△5,900	—
計	16,597	11,709	2,373	30,680	2,857	33,537	△5,900	27,637
セグメント利益	3,033	432	77	3,543	47	3,590	△781	2,809

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△781百万円には、セグメント間取引消去404百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,186百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,106	14,182	2,103	29,392	1,895	31,288	—	31,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,672	1,466	—	5,139	2,029	7,168	△7,168	—
計	16,779	15,649	2,103	34,532	3,925	38,457	△7,168	31,288
セグメント利益	3,127	1,022	28	4,178	163	4,341	△1,242	3,098

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,242百万円には、セグメント間取引消去71百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,313百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。